
N8190-165/166

Fibre Channel コントローラ

ファームウェア適用手順(RHEL)

Starter Pack Version S8.10-013.05では「Starter Pack DVDからのファームウェアアップデート手順」で N8190-165/166 Fibre Channel コントローラのファームウェアを適用することができません。

RHEL OSセットアップ完了後に本書の【ファームウェアバージョン確認方法】を参照して、ファームウェアのバージョンを確認してください。

N8190-165/166のファームウェアバージョンが「02.05.01」でなかった場合は、本書の【適用手順】を参照してファームウェアを適用してください。

ファームウェアの適用が完了したら再度本書の【ファームウェアバージョン確認方法】を参照して、N8190-165/166のファームウェアバージョンが全て「02.05.01」となっていることを確認してください。

【ファームウェアバージョン確認方法】

下記のいずれかの方法でファームウェアバージョンを確認することができます。

<システムユーティリティ(System Utilities)での確認方法>

- 1) POSTで<F9>キーを押してシステムユーティリティ(System Utilities)を起動します。
- 2) システム構成(System Configuration)を選択します。
- 3) 対象のFibre Channel コントローラを選択します。
N型番と「製品名」の対応は以下のとおりです。
N8190-165/166: SN1100Q
- 4) アダプタ情報(Adapter Information)を選択します。
- 5) マルチブートバージョン(Multiboot Version)を確認します。

<iLO Webインターフェイスからの確認方法>

- 1) マネージメントLAN経由で接続し、iLOメニューを表示させ、「ファームウェア & OSソフトウェア」を選択してください。
- 2) 「製品名」「ファームウェアバージョン」が表示されます。
対象となる製品の製品名とファームウェアバージョンを確認してください。
N型番と「製品名」の対応は以下のとおりです。
N8190-165/166: SN1100Q

【適用手順】

- 1) Trusted Platform Module(TPM)を搭載している場合、システムユーティリティ(System Utilities)から「TPM Visibility」を[Hidden]にします。システムユーティリティ(System Utilities)から設定する手順は「メンテナンスガイド（共通編）」を参照してください。設定を変更したら、サーバーを再起動します。
- 2) サーバーにrootユーザーでログインします。
- 3) マウントポイントを作成します。作成済みの場合は、本操作は不要です。
mkdir /media/cdrom
- 4) Starter Pack S8.10-013.05をマウントします。
mount -r -t iso9660 /dev/sr0 /media/cdrom
- 5) ファームウェアモジュールが収録されたディレクトリに移動します。
cd /media/cdrom/16g_fc/q/rhel
- 6) 以下のコマンドを順番に実行します。
rpm -Uvh firmware-fc-qlogic-2025.11.01-1.3.x86_64.rpm
cd /usr/lib/x86_64-linux-gnu/firmware-fc-qlogic-2025.11.01-1.3
./setup -f
- 7) サーバーを再起動します。
reboot
- 8) 手順1)で設定を変更している場合は、設定を元に戻してサーバーを再起動します。